

郵便
報知新聞
便 錦画第四号

大坂府下新稻村百姓稲次吉松の當
 世幸ふが自村四川某の娘とて八年
 ありと物りし各親の許と相可詮
 現世で漆られぬの常文句で明治
 八年九月廿日夜同區棚田池へ柏手
 を相着し投身せを然に吉松とて
 平常海を嗜むが苦しむに及
 加海情成のまらも忘ま自然と
 働く身存手足とらに陸へ這上り
 今更命がやこり其場を返して
 羽室村の水車孤家にかみしを封
 三童子小着認められせんとくも有昔
 帰る吉郷のそとににがそを挿せ教日
 だれて食さるゝ鉄界の如く水諫の
 たり助命せー藝の身を助る不世
 世を世評小咄したる



版元池田傳兵衛
 筆者川上成和

郵便報知新聞 錦画4号 文庫10-8071-2

早稲田大学図書館蔵 / Waseda University Library

